

各 位

平成 15 年 2 月 19 日

本店所在地 東京都港区西新橋一丁目10番2号
会社名 ソフトバンク・インベストメント株式会社
(コード番号8473 東証第一部、大証第一部)
代表者 代表取締役社長 北尾 吉孝
問い合わせ先 責任者 役職名 常務取締役管理本部長
小林 寿之
電話番号 03 - 5501 - 2711 (代表)

バイオ・ベンチャーのインキュベーションにおける
慶應義塾大学とのアライアンスについて

ソフトバンク・インベストメント株式会社(東京都港区、代表取締役社長：北尾吉孝、以下ソフトバンク・インベストメント)の子会社であるバイオビジョン・キャピタル株式会社(東京都港区、代表取締役社長：北尾 吉孝、以下バイオビジョン)は、慶應義塾大学(東京都港区、塾長：安西 祐一郎)と、共同で大学のバイオ分野の研究シーズをベンチャー企業に育て上げるインキュベーション活動を実施することに合意いたしました。

このたびの提携は、大学と大手ベンチャー・キャピタルが、共同で大学発のバイオ・ベンチャー企業の創出を総合的に支援・育成するために、事業計画、研究の促進、会社設立、資金等の面で包括的な支援を行うものです。このような包括的な取り組みは、公表されているものの中では、我が国において初のケースとなります。

現在、慶應義塾大学は、国際レベルのバイオ研究者を多数擁し、大学発ベンチャーの企業、特許申請の件数は国内大学のトップ・レベルに位置しております。今回の提携により、同大学が学内の研究シーズを提供し、バイオビジョンのビジネスノウハウとネットワークを活用し、共同で学内の研究者に対して事業化戦略、経営戦略、特許戦略、トランスレーショナル・リサーチ(基礎研究を実用化するための橋渡しの研究)、資本政策等について様々なアドバイスを行い、ベンチャー企業を立ち上げることをサポートしてまいります。

バイオの研究をもとにしたベンチャー企業のインキュベーションは、IT(情報技術)等他の分野のベンチャーと比較して、手間や資金的な負担が遥かに大きいことが指摘され、起業しても収益化するまで長い年数を要するケースが一般的です。さらに我が国では、米国と比較して、バイオ・インキュベーションに必要とされるインフラと人材が不足しており、残念ながら有望なベンチャー企業が次々と輩出されるという状況には至っておりません。慶應義塾大学とバイオビジョンは、他大学との連携をはじめ外部の研究機関との提携

によるシナジー効果も追求していく方針であり、我が国におけるバイオ・ベンチャーの育成とバイオ産業の発展への貢献を目指すものであります。

なお、この度の提携は独占・排他的なものではなく、両者とも自由に新たなパートナーと組むことを担保いたします。

なお、本件に伴う当社業績見通しへの影響は現時点では軽微であります。

以上

《ご参考：バイオビジョン・キャピタル株式会社について》

バイオビジョンは、ソフトバンク・インベストメントが主な出資者となって、平成 14 年 8 月 19 日に設立されました。経営陣は、大手製薬企業出身者、他バイオ・ベンチャーの元経営者、投資銀行出身者等で成り、様々なネットワークを活用して、バイオ・ヘルスケア分野のベンチャー企業のインキュベーション、投資、ファンドの運用管理等を主な業務としております。また、米国のバイオ企業への投資も検討しており、この過程で海外と国内のバイオ・ベンチャーのシナジーを目指します。ベンチャーのスタートアップ支援のみならず、当該企業がグローバルな市場のプレーヤーに成長することを長期的にサポートするという、他のベンチャー・キャピタルにはあまり見られないユニークな理念、目標を掲げています。

バイオビジョンでは、インキュベーション活動と併せて、平成 15 年中にバイオ・ヘルスケア分野に特化したグローバルに投資を行うファンドの設定を予定しています。

【バイオビジョン・キャピタル株式会社の概要】

所在地：東京都港区虎ノ門 4-1-1 虎ノ門パストラル本館 7F

代表者：北尾 吉孝

設立日：平成 14 年 8 月 19 日

資本金：1 億円

資本構成：ソフトバンク・インベストメント(株) 50%、その他 50%

事業内容：バイオ・ベンチャー・ビジネスのインキュベーション、ファンドの運用管理

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

ソフトバンク・インベストメント株式会社	I R 室	03-5501-2711
バイオビジョン・キャピタル株式会社	尾崎	03-5472-7570
慶應義塾大学知的資産センター	清水	03-5427-1678